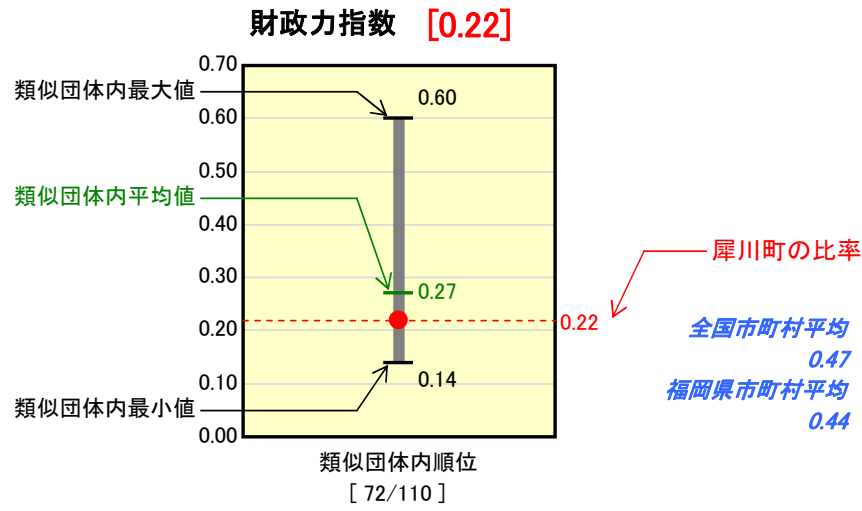


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

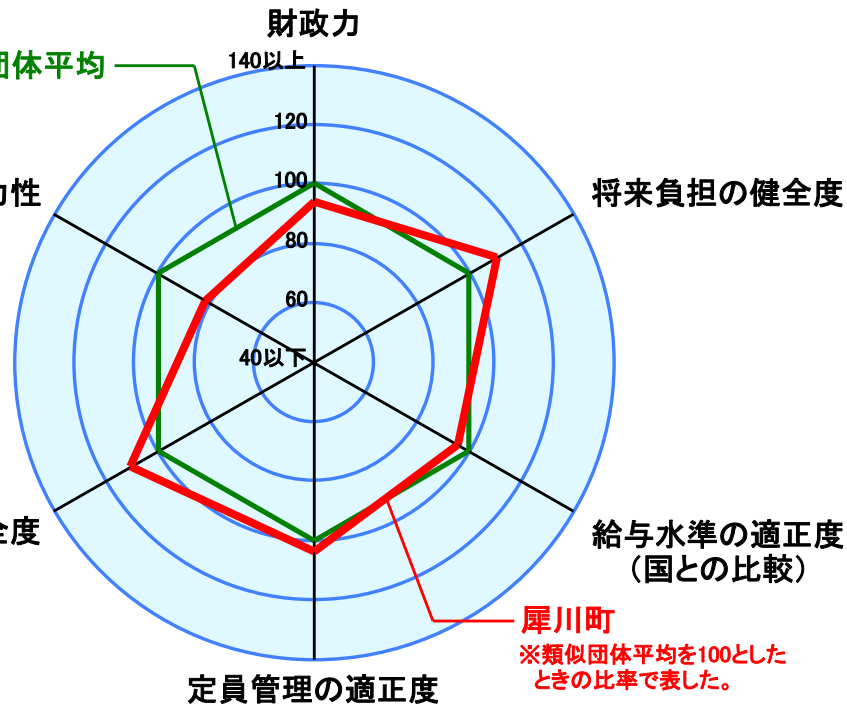
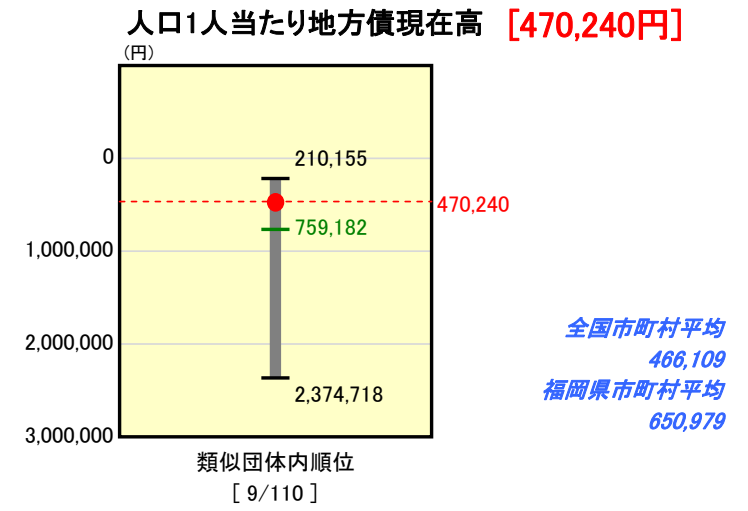
福岡県 犀川町

人口	7,575 人(H17.3.31現在)
面積	98.00 km ²
歳入総額	3,985,144 千円
歳出総額	3,786,894 千円
実質収支	67,299 千円

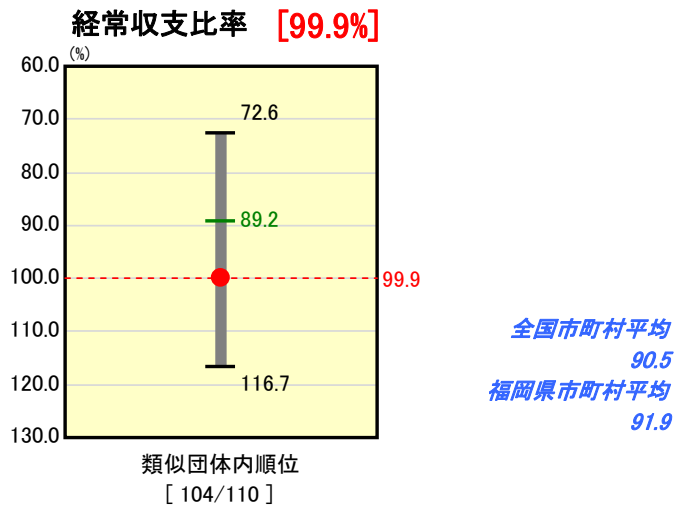
財政力



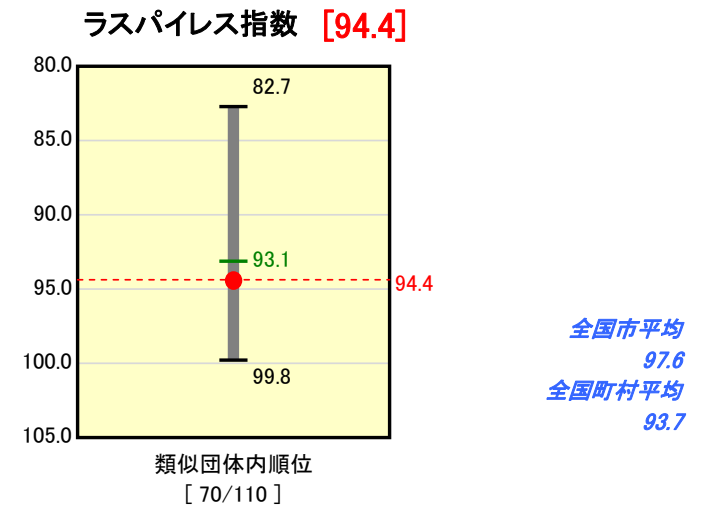
将来負担の健全度



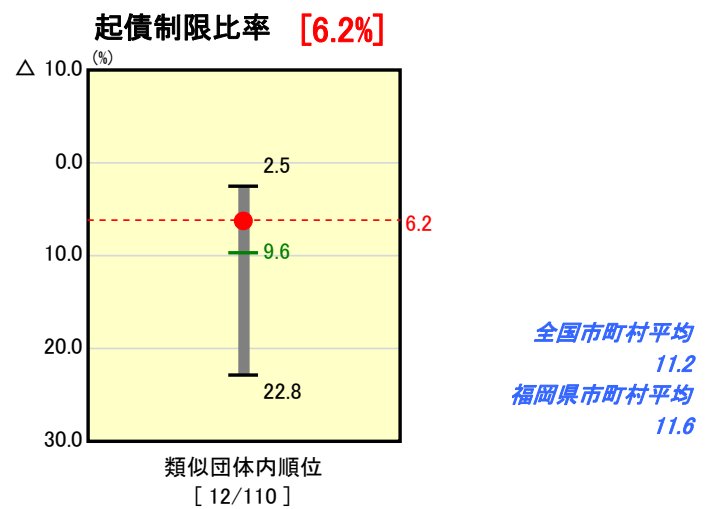
財政構造の弾力性



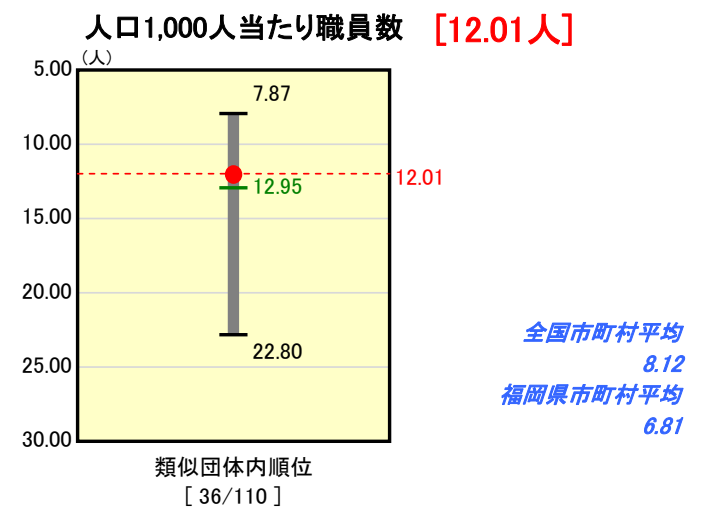
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(16年度末32.6%)に加え、町内に規模の大きな企業等も少ない等により、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っているため、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の抑制(5年間で14%減)等、歳出の見直しを実施するとともに、税率率向上対策(2%の向上)を中心とする歳入確保に努める。

○経常収支比率
扶助費、補助費、繰入金の増加により99.9%と類似団体平均を上回っている。歳入では、過疎地域でかつ高齢化率の高い本町では、税率等の大幅な増は期待できない。歳出において、職員数の減、補助費の見直し、国民健康保険及び老人保健の医療費の削減取組みに伴う繰入金への減に努め、経常経費の削減(10年間で5%減)を図る。

○起債制限比率
過疎計画のもと、適量・適切な事業実施により、類似団体平均を大きく下回る6.2%となっている。今後も緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、過疎計画に沿った町政に支障をきたさない財政運営に努める。

○人口1人当たり地方債現在高
近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、防災行政無線整備事業、防災行政無線整備事業、定住促進対策事業を予定している。過疎計画等地方債全体を考慮しながら過剰投資を抑制し健全な地方債発行に努める。

○ラスパイレス指数
全国市町村平均、類似団体平均共に上回っている。現行の給料表は年功的な体系となっており、上下の職務の級間での水準の重なりも大きいものとなっている。こうした年功的な要素が強い給料表の構造を見直し(8級制から6級制)、職務・職責に応じた構造への転換を図る観点から、級間の給料表水準の重なり縮小、枠外昇給制度の廃止などの措置を講じることで、ラスパイレス指数を94.4から類似団体平均の93.1まで低下を目標とする。

○人口1,000人当たり職員数
定員適正化推進計画(計画期間:平成14年~17年度)において、退職者の補充を行わず、10人(△10%)の削減を行ってきたものの、町の面積が広大で支所を配置しなければならないことから、人口当たり職員数を類似団体と比較すると突出して多く、更なる削減が必要である。合併(平成18年3月20日)後、新町建設計画に沿って定員適正化計画を推進し、10年間で180人台を実現する。